



町内会広報

発行：玉川学園町内会 会長 田代 敏行

042-725-0438

t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp

https://tamagawagakuen-chonakai.net

玉川学園町内会

検索

ホームページ
アクセス



- 特集 - 2025年定期総会

2025年度 玉川学園町内会定期総会が行われました
2025年5月25日(日) 10:00~12:30 町田第五小学校 体育館

議決結果

出席者 105名、議決権行使書 984名、委任 1,590名
計 2,679名 / 会員総数 3,432名(78%)で総会成立

	賛成	反対	
第1号議案 2024年度事業報告	2,626	17	可決
第2号議案 2024年度決算及び監査報告	2,620	14	可決
第3号議案 2025年度事業計画「方針と活動の進め方」	2,621	15	可決
第4号議案 2025年度各部及び各地区の事業計画	2,609	9	可決
第5号議案 2025年度予算	2,572	27	可決
第6号議案 2025年度監査役立候補及び推薦候補	2,612	10	可決

報告事項

2024年度事業報告

総務部

町内会公式LINEの運用拡大、定期総会の取りまとめ、年間を通じて各定例会議の取りまとめ、町内会全体の課題解決への取り組み、地域で活動している団体に対する支援

経理部

各部、各地区の予算と実施進捗状況の把握と幹事会での報告、次年度予算立案に対しての実績経緯の提示、来期予算策定の取りまとめ、予算の健全化の検討、予算執行効率化の為各地区で仮払い処理／清算を実施

広報部

広報部編集会議、町内会だよりの発行(年6回)、町内会広報135号発行、町内会各種事業に関する広報活動、ホームページ及び公式ラインの管理運営

防犯防災部

防犯防災部会、自主防災隊長会議、各地区防災訓練、防犯・環境パトロール、登下校時の見守り活動、町田市防犯リーダー講習会、わんわんパトロール地区責任者会議、防災体験学習、避難施設運営会議、防災セミナー、高精度振動計に関する住民説明会、防災リーダー講習、避難所開設訓練、ころころ児童館・幼稚園・保育園合同防災訓練、年末特別パトロール、防災倉庫の増設(第六地区、第八地区)、街頭消火器の点検

環境部

環境部幹事部会、環境委員会の開催、資源回収に係わる活動、リサイクル施設の見学会の実施(東京スーパーエコタウン訪問)、防犯・環境パトロールへの参加、住環境に係わる建築協約の活動、緑の街並みとその他の活動、町田市との協議(温暖化対策の緑のカーテン用ゴーヤ300株の配布)、「善意の傘」の維持活動、「憩いの椅子」の補修と塗装

コミュニティ部

コミュニティ部会を毎月開催、町田市青少年健全育成玉川学園地区委員会に委員を派遣し同主催「秋の子どもまつり」などに参画、商店会と連携して夏祭り・ハロウィン・クリスマスイベントを実施、12月「クリスマスの集い」、1月「餅つき体験会」「玉川寄席」、3月「街の小さな音楽祭」「ウォーキング」を実施

2024年度決算および監査報告(業務監査・会計監査)

経理部より、一般会計および特別会計の決算報告がなされ、その後監査報告が行われました。決算内容は、三宅・望月両監査役により預金通帳・諸帳簿ならびに諸帳票の詳細な会計監査が実施され収支および財産管理について、正確かつ妥当であることが認められました。また業務監査として幹事会等を傍聴し、役員の職務遂行に関する不正の行為、または会則に違反する重大な事実が認められなかったとのことで承認されました。

決議事項

2025年度事業計画「方針と活動の進め方」

「人にやさしい安心して住むことのできる明るいまちづくり」の推進と「だれもが歩いて豊かな景観を楽しめるまち」を目指し、住民の声を行政に反映させるとともに、住みよい環境の整備、促進に努めます

【1】加入者減少に対する取り組み

・地区ごとに活性化事業等を通じてコミュニティを醸成し、会員減少に歯止めをかける
・町内会公式ラインを通じて積極的な情報発信を行い回覧の削減を目指す
・転入者への加入促進(不動産業者との連携、転入者・集合住宅へのアプローチ)
・地域交流イベントの展開(イベント募集他)
・役員の若返り・女性役員の積極的参加を促す(現役世代が活動できる仕組みの実現)

【2】安全安心のまちづくりの促進

地域防災計画の合意形成、消防団との連携強化(役割分担・支援)通学路の安全確保、防犯パトロールの強化

【3】関連団体との連携強化

地域活動団体への支援強化、皆さんが気軽に集える場所の確保

2025年度各部の事業計画

総務部

各定例会議を開催、町内会組織、運用体制の見直し、町内会公式ラインの拡大策、地域で活動している関連団体のイベントを積極的に支援

経理部

予算実施進捗管理、経理作業の効率化検討

広報部

「町内会だより」年間6回、「町内会公報136号」発行、町内会ホームページ及び公式ラインの運用管理、会員意識調査アンケートを企画推進

防犯防災部

<防犯>防犯・環境パトロール、登下校時の見守り活動等
<防災>地区防災計画の作成、防災倉庫及び防災資機材の整備、ハザードマップの作成等

環境部

資源回収に係る活動、生ゴミの廃棄量を減少させる取り組み、安全快適な住環境のための建築協約に係る活動

コミュニティ部

多くの世代の方が参加でき、一時的でなく持続的なコミュニティ形成に役立つ活動を目指す、町の活性化を目指す諸団体と協力・協調

2025年度予算

一般会計予算、特別会計予算が提議され承認されました。

2025年度監査役の選出について

菊地隆男氏(第一地区)が選出されました。

2025年度外部会議体の活動報告 及び計画

町田市町内会・自治会連合会をはじめとする関連団体、さくらんぼホール、こすもす会館などの活動報告と今年度計画について説明がありました。

会長挨拶



【新年度にあたり】会長 田代敏行

昨年度に続き、今年度も町内会会長を拝命いたしました田代と申します。コロナも落ちつき、今年度の定期総会も一堂に会して開催することが出来ました。

高齢化が進む中、町内会は多くの課題を抱えております。町内会役員のなり手不足があります。特に女性役員の不足が深刻です。前期も現役世代の方が参加しやすい様に定例会議の開催回数を隔月に減らし、開催日も週末に変更するなど対策を講じて参りました。更に「サポーター」制度の採り入れを積極的に進めております。この制度は、普段忙しくて中々町内会活動に参加できない方々に、定例会議への参加はせず、自分の都合に合わせて参加できる範囲でお手伝いいただく制度です。こうした取り組みを通じて町内会活動に関わる方を少しでも増やしていきたいと思っております。併せて、一昨年6月に情報発信の迅速化を目指し町内会「公式ライン」の運用を開始しました。お陰様で現在1200名を超える登録者となっておりますが、今後さらに会員の登録を増やし、地域の情報発信基地となるよう務めてまいります。そして先々は、班長、支部長の大きな負担となっている「回覧」の削減に繋げていきたい狙いがあります。

また、空き家の増加、町五小避難施設の収容能力不足等々、どれもが簡単に解決できるものではありません。可能な対策を一つ一つ講じていきたいと思っております。

今年度も前年度の基本方針を引き継ぎつつ「安全で安心な街づくり」「住んで楽しい街」「これからも住み続けたい街」の実現を目指して力を注いでまいります。その他、現在町内会が抱えている課題としては、

(1)顔の見えるコミュニティの醸成

(2)退会者が増える中、町内会への加入をどう増やしていくか

(3)資源物集積所の不法投棄、ルール違反への対応

(4)近く、必ず来ると言われている巨大地震に備える「地域防災の推進」

(5)地道に進めなければならないごみ削減などの「環境問題」

(6)高齢化が急速に進む中、「玉ちゃんバス」「福祉バス」に続くオンデマンド方式導入等「地域交通の在り方」

(7)高齢化と少子化の進行に伴う「地域福祉の在り方」

(8)町田市が進めている「学校統廃合への対応」

等があります。

地域の多くの団体と協力して、会員の皆様のご意見やご要望を賜わりながら役員全員で前に進めるよう努めていきたいと思っております。

この広報は各戸配付です。一部お取りください。町内会活動で取得した個人情報厳重に管理します。

玉川学園地区自主防災隊からのメッセージ

1 玉川学園第一地区自主防災隊 隊長 岩崎 けい子

“地区の実情にあった防災計画“
前年度の終盤より、月一回(曜日と時間帯を変え)の防災隊会議を開催することにしました。
回を重ねることで疑問点は納得、もっと知りたいに変化しています。
まず最初に取り組んだことは、自主防災隊の五班(情報、消火、救出救護、避難誘導、給食給水)を五係にしました。 ※支部内での班長と混同するからです
現在、進めている作業は各係の活動内容です。実情にあった要領で作成中です。すると、見えてきました!! 全ての係活動には地図(防災マップ)が必要なんです。このマップが無ければ=イザ・災害= の時、なに一つ動くことができません。地区の役員さんにお力を貸していただかなくては完成しない、大変な作業になるやもしれませんが進めるしかありません。
『誰一人、見逃さない』は自主防災隊の合言葉! 《自助・近助・公助》
一人ひとりが自分ごとと捉え、危機感をもって日々を過ごしてほしいと思います。
・自宅に危険がない場合=**在宅避難**
・普段使いの食料品、生活必需品は少し多めに備える=**ローリングストック**
「防災だより」を発信しつつ地区全員(会員、非会員)があんしん・安全な町で過ごせるよう頑張ってます。ご理解とご協力をお願いいたします。

2 玉川学園第二地区自主防災隊 隊長 下迫 亮治

自主防災隊長に任命され2年が経過しました。これまで自主防災隊員を含め住民の方に多くの防災イベントへの参加機会を提供し、防災訓練などへの参加率は年々向上しています。
特にAED・心肺蘇生訓練には小学生のお子様を含め多くの方の参加がありました。また安否確認訓練(白いタオル出し)は参加率が前年比30%増となり、皆様のご理解とご協力をいただきました。訓練は習うより慣れるというように、慣れが大事なので、これからも参加機会を増やしていきます。
今年度は第二地区防災計画を作成します。防災計画とは災害が発生した場合に、自主防災隊及び地域住民が行うべき活動内容を明記し、被害を最小限に抑えることを目的に平常時・発災時の行動内容を定めるものです。作成後はその行動手引きに沿った活動、防災訓練を実施したいと考えています。
また災害時において助けが必要な人たち(災害時要配慮者)の名簿を完成させると共に見守り班を立上げ、年間を通じて決められた業務(要配慮者宅の訪問、名簿のメンテナンスなど)を実行します。これからも隊員の防災意識を高め、皆様のご理解・ご協力をいただくよう努めて参ります。今年度もよろしくお願いいたします。

3 玉川学園第三地区自主防災隊 隊長 遠江 義智

2025年度も引き続き第三地区自主防災隊長をさせていただきます遠江義智です。これまで多くの方に支えられて、自主防災隊長を務めてこられたことに感謝申し上げます。
第三地区自主防災隊では、災害が発生した時には、会員のみならず非会員とも協力しあって、災害を乗り越えることを目標としています。数年前より非会員の方にもポスティングを行い、地区防災訓練の参加や安否確認カード出しの参加を呼びかけて実施しています。少しずつ参加者も増えていきます。今年度も継続してまいります。また、消火器の普及や発災時に支援を必要とする方への支援も重点活動として取り組んでまいります。併せて、今年度は近隣の自治会との災害を想定した協力関係を構築していきます。最近、豪雨や台風、地震、火災等によって、生命や財産、建物、環境等に大きな被害がでています。玉川学園でも、いつ発生してもおかしくありません。近隣との協力の重要性は増していると考えています。
今年度も、第三地区自主防災隊は非会員の方も含めて安全安心につながる活動を行ってまいります。今年度もよろしくお願いいたします。

4 玉川学園第四地区自主防災隊 隊長 松澤 武陽

第四地区自主防災隊では昨年度はじめて会員以外の方も含めた全世帯対象に発災時の要配慮者の方々を把握する取り組みを支部長さんを始めた役員の方々のお力で実施することができました。自主防災隊へ支援票を提出していただいた方々を訪問すると皆さん、発災時にはどうしたらいいのかわかり、不安を抱えておられます。日常的につながりをつくりながらお手伝いできないかと思います。しかし、私どもも発災時には何が起ころうとも不思議ではありませんし、お手伝いをする場合も、福祉・医療関係者の方々の支援がなければ対応できないことがあることも事実です。発災時には常日頃の支部・班の地域の方々同士のつながりがとても大切になるのではと思います。一方で地区での防災訓練などで支部同士の交流もできるような工夫することで地区の団結も深めたいと思います。安否確認で大切になる白いタオル出し訓練も地区防災訓練にあわせて初めて実施しました。今後四地区にお住まいの方全員を対象にした避難計画の立案を進められればと思います。ぜひ、多くの皆さんのお知恵をお借りしながら取り組みをすすめていきたいと思いますので今後ともよろしくお願い致します。

5 玉川学園第五地区自主防災隊 隊長 渡辺 哲也

第五地区は、1,434世帯で3,060人の方がお住まいです。当地区の住環境は住宅密集地域で道路環境が悪く発災時は消防車両では対応できない箇所が多いと指摘されています。総合的にリスク対策は発災事象での火災対策となります。出火すると延焼が想定されるため何としても初期消火で延焼を防がねばなりません。現在多くの震災統計から当住環境では発災時初期消火成功率は67%と考えられます。かなりの確率で消せているのです。これを限りなく100%に近づけることができれば発災時の延焼は起きません。消火器の整備と消火訓練により初期消火成功率をできるだけ上げる対応と努力が必要です。出火原因は通電火災だけではなく、季節や時間帯でも多々発生します。全世帯で状況を理解し冷静で適切な対応を訓練で出火を防ぎましょう。第五地区の消火器普及率90%以上を目指しほとんどの世帯が消火訓練で実際消火できるようにしましょう。

6 玉川学園第六地区自主防災隊 隊長 島倉 正美

当地区では自主防災隊役員と地区・支部役員が地区防災会議のメンバーです。地区(東玉川学園1丁目、2丁目の一部)の中ほどに尾根道(標高80m超)が通り、尾根道とその両側の傾斜地に家屋が密集しています。特に、尾根道の西側と地区の南側の各道路は狭く大型消防車両が入ってこれません。そのため、地震火災に備えて第六地区防災計画に沿った活動を進めています。毎年、地区の防災訓練「みんなの防災フェア」と安否確認訓練を実施する他、今年度から地区防災会議メンバーを対象に防災図上訓練を複数回実施して、安否確認と救助、避難誘導に必要な戦術と判断力を身につける取り組みを始めています。地震火災による延焼は最悪3時間で当地区全域を焼き尽くします。地震火災は複数個所で発生し、これに電柱や擁壁の倒壊・崩落などによる道路閉塞が重なる為、エリア(主に番地)ごとに避難ルートを即断しなければなりません。延焼の広がりにあわせて閉じ込めに遭っている被災者の発見と救助も必要です。この様なことにならない為に火災警報器・消火器・感震ブレーカーを設置し、訓練に参加し正しい消火方法を習得してください。

7 玉川学園第七地区自主防災隊 隊長 熊木俊朗

皆さま、こんにちは
第七地区自主防災隊長の熊木と申します。
私は隊長2年目となりますが、まだ現役で働いていますので、周りの隊員・地区幹事の皆さんに助けられながら続けております。
町内会での班長→支部長→自主防災隊→自主防災隊長と経験させていただく中で地域住民としての意識が高くなったように思えます。(当たり前ですが、会社と家だけの生活では感じる事はできませんでした)
ご存じのように、自然災害はいつ起きるか分かりません、その時の時間や場所によって対処方法が変わってきますが、まずは『自助』(自分の命は自分で守る)更には家族を守る為には「家を守る(家具の固定等)」、「備蓄をする(飲食物・トイレ等)」、「情報収集と伝達手段を確保する(災害伝言ダイヤル・防災アプリ等)」が大切と言われております。
次に『共助』(地域や近所の人と助け合う)・・・まさに自主防災隊ですね。我々は主に防災倉庫内物品の適正管理や防災物品(テント張り・簡易トイレ設置・発電機によるライト投光・タイヤ付き担架組立等)による体験勉強会や消火・救命講習等をおこなっておりますので、是非ともご参加ください。会社勤めの方も学生さんもお待ちしております。
最後に『公助』は国・東京都・町田市による対策や取り組みですが、大災害の発災時には助けに回れる見込みは低いと言われておりますので、『自助』『共助』で乗り越えなければなりません。そのためには一人でも多くの方が災害に対する意識を持ち、勉強会や講習等を体験していただける事を切望しております。

8 玉川学園第八地区自主防災隊 隊長 下山 洋一

発災時何よりも大切なのは隣近所のコミュニティと言われています。今年度より自主防災隊が中心となって、助け合いの仕組みづくりとして『助けが必要な人たち』(大震災時に自力で避難等が困難な方)の把握を進めて必要な支援が行えるよう準備をして参ります。
昨年度地区防災倉庫を増設し、救出救護の資機材を充実させ地区での防災訓練や防災学習を通して、資機材の使用訓練を通してスキルアップを図り災害に備えて行きますので是非ご参加ください。第八地区(玉川学園8丁目)には地震火災などによる大きな被害が想定される『木造住宅密集地域』が含まれます。震災時の火災拡大を防ぐため大切な初期消火を行うため、各ご家庭での消火器の備え促進、街頭消火器の充実、スタンドパイプの設置を進め、合わせて使用訓練を実施して誰もが初期消火を行えるように取り組んで参ります。
第八地区は震災時避難所として南大谷小・中学校が指定されています。近隣自治会と連携を図り避難施設の運営を行います。厳しい環境での避難を避けるため、日頃より水・食料の備蓄ご自宅の耐震化や転倒防止対策、火災を出さない等、ご家庭での備えをお願いします。自主防災隊員を会員・非会員を問わず八地区にお住いの皆さんを広く募集しております。地域防災に興味を持っていただき防災リーダーとして是非ご参加ください。

2025年度役員・幹事

会長	田代 敏行
副会長	伊藤 宏
副会長	古河 博
副会長	淵 純男
総務部部長	渡辺 哲也 ⑤(代理)
部員	入江 恵
総務部付	中田 勝 ①
総務部付	西崎 則江 ②
総務部付	寺沢 重己 ④
総務部付	松葉 智明 ⑦

経理部部長	伊藤 宏
広報部部長	小木曾 雄介
部員	江副 智恵子
部員	島倉 正美 ⑥
部員	細川 説子
コミュニティ部部長	浅沼 晴美
副部長	島田 恵子 ③
部員	緒方 朋子
部員	上野 敦史
部員	高砂 壽一

環境部部長	木村 彰男
副部長	渡辺 哲也
部員	堀田 和久
部員	島形 健吾
部員	岡 英生
防犯防災部部長	校柵木 一宏
副部長	渡辺 俊朗
部員	伊藤 英一 ⑧
部員	遠江 義智

監査役	望月 富雄
監査役	菊地 隆男

さくらんぼホール 専任幹事	岩崎 けい子
こすもす会館 専任幹事	澤村 加奈子
専任幹事	山岡 かつ枝

※○の数字は地区長

広報部より

今年の総会では活発な意見交換が行われました。
町内会活動に一層のご理解、ご協力をお願い致します。

玉川学園町内会「広報部」宛

〒194-0041 町田市玉川学園 2-19-5

ご質問、ご感想等は、お名前をご記入のうえ書面またはメールで町内会事務所までお寄せください。尚、お電話での対応はお受けしていません。

Fax 042-725-0438 Mail t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp